先導物質化学研究所講演会

平成29年6月16日(金)　16:00～
伊都・ウエスト１号館（理学部）C棟４階C−408号室
（理学部大会議室）

タンデムボラFriedel-Crafts反応を鍵とした有機エレクトロニクス材料の開発

畠山　琢次　博士

関西学院大学理工学部・准教授
九州大学先導物質化学研究所・客員教授

含ヘテロπ共役化合物は，新たな有機エレクトロニクス材料として期待されているが，従来の合成手法ではヘテロ原子を縮環部に導入することは容易ではなく，その報告例は限られてきた。これに対し我々は，タンデムヘテロFriedel-Crafts反応を鍵として，ヘテロ元素を縮環部に有するヘリセンやナノグラフェンの短段階合成に成功している。本講演では，これらの中でも優れた光電子物性を示したホウ素縮環化合物を中心に紹介する。

問い合わせ先：　先導物質化学研究所（伊都）
谷　文都　　092−802−6224
tanif@ms.ifoc.kyushu−u.ac.jp